

30TH ANNIVERSARY  
With Great Thanks to Our Readers

ファッション週刊紙 WWDジャパン

# WWD

FOR JAPAN

May 18 vol.1522

ショーヨリ  
イケてる!

レディス／メンズ／アクセサリー  
ベストブランド 45

デザイナー、  
阿部潤一が語る  
「カラー」人気の秘密

# 東京展示会特集

東京発信のブランドが“キレイ”になってきた。若い世代はファッショニズム任せで、どうなつたろうか。マチュアな女性に向けて新しいマーケット開拓していくという東京のデザイナーの気概が、これまでない“キレイ”な解釈を始めた。そこで、今号では展示会で“キレイ”を実現したから世界大のリアルクローズを競うするブランドを紹介する。零甫は「カラー」の2009-10秋冬コレクション、アンダメリーなどデザインとトレーブ使いが意識したエレガンスを體立たせるセットアップだ。(P.36に続く)

## Section II

### 時計特集：スイス2大フェア総括

新企画 eコマースミシュラン／第1回「ゾゾタウン」 45

新连载スタート!「Buy or Die」 ビーチ・ジョンの野口美佳・社長がついに登場 39



### D&G ディー&ジー

ビンダ・グループとのライセンスで2000年にスタートした「D&G」の時計ラインが昨秋日本にも上陸した。レジン製の小さなパケットをつなげたブレスレットにスクエアのフェイスと、新作「アリストクラティック」は縦長の細いラインが美しく、また腕なじみが良い。「アリストクラティック」4万9,350円(黒ベース)、6万1,950円(白ベース)



### BLUMARINE ブルマリン

新作はシェイプとサイズのコントラストで遊ぶ。中でも一際輝いていたバゲットタイプにはフェイスとケースに流れのようなバターンを組みながらジルコニアを配し、針や文字のグラフィックがその輝きの中で強力なアクセントになっている。「ブルマリン」はGWI社とのライセンスで時計を生産する。残念ながら日本未上陸だ。



## COLUMN:02

### おもちゃ感覚で楽しむおもしろ時計

メカであり、ファッショナルでもある腕時計は様々な顔を持つ。奥が深いだけに、時計選びの基準も人それぞれだろう。時に、機械としての性能や見た目の美しさだけでなく、おもちゃのようにユニークなデザインに遭遇することがある。うんちくを語る前に、ただ見た目で楽しむ、そんな風に時計の魅力を堪能するのも面白い。

## 界で出店を加速

周年を迎える「ゲス」のハイエンドラインでウォッチ&ジュエリーに特化フェア出展3回目を迎えた。大人っぽいシックなデザインでありながら、4万円というリースナフルさが受け徐々に人気を上げている。ゲスイングの時計部門をまとめたシーケル社は、今年2月にヨーロッパ初の「Gc」ウエストフィールドモールに開店した。現在世界で約15店舗を構え、今クなど新たに25の新規出店を予定している。日本でのディストリビュージャパンは、「現在日本では伊勢丹新宿店や東急百貨店本店など、卸と直を持つ。6月から新たに日本橋三越でも展開する。昨年度の売



上高は対前年比約150%と3年連続で右肩上がりで伸長している。今秋には日本でもオンラインショップショップの展開を視野に入れているという。レディスのイメージが強いが、商品構成はメンズ・レディス半々で全世界の売り上げはメンズが約60%とレディスを若干上回る。



メンズモデルのスポーツオートマティック ヴァルジョー 36万7,500円。世界限定250本

レディスモデルのスポーツクラス XL-S 5万7,750円



### PIERRE DEROCHE

「ピエール・ドロッシュ」の新作「グランドクリフ TNTロイヤルレトロ」は、10秒単位でレトログラード(ゼロからスタートした針が終点まで進むと同時にゼロまで戻り、再始動する)を行なう世界初の機構を搭載。6つの秒針がリレー方式に次から次へと移動する。199万5,000円~430万5,000円(予価)



### AZIMUTH

カジノのルーレットをイメージした「アズムート」の新作「ルーレット」は、サイコロ状のフレッシャーを押すと、ルーレットの白いボールが回転するというユニークな仕掛けが施されている。ケースはルーレット台をイメージし、秒針には実際のルーレットと同じ蛇腹バーツを用いている。34万6,500円(予価)